

令和2年5月7日

保護者の皆様

杉並区子ども家庭部保育課長

臨時休園の考え方並びにご協力のお願い（令和2年5月7日）

国の緊急事態宣言の延長を受けまして、杉並区では感染拡大防止のため、以下の保育施設については、令和2年5月31日（日曜日）まで原則臨時休園を延長することを決定しました。

区へは、「休園を続けて欲しい」というご意見をいただく一方で、「早く受入れを再開して欲しい」というご意見もいただいています。そこで、休園の考え方につきまして、改めて区の考え方をお知らせさせていただきます。休園が長期化してまいりましたが、引き続き保護者の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

記

1 臨時休園とした理由

区内の新型コロナウイルスの累計感染者数は5月6日現在 233 人です（区公式ホームページ「区内発生情報」）。これは、23 区内でも4番目に多い人数であり、また、現在も新規感染者が発生し続けている中で、いつ区内の保育施設内で発生してもおかしくない状況です。こうしたことから、保育施設を閉じることによって、人と人との接触をできる限り減らし、子どもの生命や健康を守り、また、保育施設で働く保育士等の健康と安全を守ることが必要であると考えました。

保護者の方の中には、「保育園は安全」と思われている方もいらっしゃるかもしれませんが、しかし、保育施設の設置基準では、3歳～5歳児の一人当たりの面積は、1.98㎡以上でしかなく、保育施設は常に密の状態にあります。また、保育施設では感染症対策に万全を期して、園内の消毒などを行っていますが、消毒用アルコール等の入手が困難な状況は、一般のご家庭と変わりません。

さらに、保護者も保育士等も電車やバス等の公共交通機関を使って通勤している方が多いので、保育施設内でいつ感染症が発生してもおかしくない状況といえます。

区では、3月から登園の自粛を保護者の皆様をお願いしてまいりましたが、その当時は、まだ8割以上の児童が登園している状況で、園内が密の状態なのは変わりませんでした。4月9日から臨時休園としたことによって、現在の登園している児童は1割未満と大幅に減少し、ようやく園内の密になっている状況が解消されました。保護者の皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

2 園内感染が発生した場合に起こること

保育施設は、家にいることに比べて感染リスクが高い環境です。園児に感染症が判明した場合や職員に感染が判明または濃厚接触者と特定された場合などは、保育施設全部を完全に休園する場合があります。保護者の方を含め多くの方々にご負担をおかけするとともに、自分も感染しているかもしれないと不安な日々を過ごしていただくこととなります。

また、園にいた職員や園児に感染症が判明すると、一緒にいた多くの子ども達も感染の疑いがあるため、他園等で受入れることもできません。

3 休園中の受入れについて

人と人との接触を減らすためには、保育施設の完全休園が望ましいことと言えます。しかし、保護者の方が勤務を必要とされる理由は様々です。このことから、東京都が休業を要請している業種については、原則としてご家庭での保育をお願いしますが、勤務を余儀なくされ、子どもが家に一人になってしまうなど、ご家庭での保育が特に困難な方については保育を実施していきます。

ただし、保育士もできる限り必要最小限の人数で行いますので、平常時の保育とは異なることをご理解ください。

4 在宅勤務の方へのお願い

国は、新型コロナウイルス感染症の緊急事態を終息させるためには、人と人との接触を最低7割、極力8割削減が必要とし、可能な限り在宅勤務等の対応を進めていただくよう各企業にお願いし、多くの企業が在宅勤務を実施していただいています。こうした中で、子どもが家には仕事ができないというご意見も多くいただいています。しかし、在宅勤務は感染の拡大を防止するため、従業員を守るために企業が行っているものです。それぞれの仕事によって状況は違うと思いますが、ご家族全員が家にいることで感染症のリスクからお子様を守っていただけますよう、ご家庭での保育をお願いいたします。

5 育児休業中の方へのお願い

育児休業を延長される方については、6月の復職まで期間を延長することができます。また、兄弟姉妹が保育施設に在園している場合でも、感染症のリスクからお子様を守っていただけますよう、ご家庭での保育をお願いします。

6 むすびに

保育施設は子ども達の生活の場です。遊び、食事をとり午睡をします。保育士は子どもたち一人一人の安全を保障し気持ちを受け止めて安心して過ごせる環境を整えておりますが、子どもは食事をとるときにはマスクを外しますし、泣くときも、笑う時も甘える時も、保育士は近距離で接しています。

現在も、通常時ではない保育環境で保育を継続していますが、子どもに感染させてはいけない、また保育士自身も感染しないようにと緊張と不安の中で、保育を行っています。しかしながら、保育を行う上では、社会的距離の2メートルを確保することはできません。都内の感染状況からも、保育施設での感染リスクはないとはいえない状況であると考えています。

保護者の皆様におかれましては、臨時休園の延長に伴い、更なるご負担をおかけすることとなり、誠に恐縮ですが、こうした保育現場の現状をご理解いただき、お子さんやご家族、そして今も保育を継続している保育施設を感染から守るために、より一層のご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。